

隣保館だより

編集 下榎隣保館
〒689-4526 日野町下榎 157 番地 1
電話：72-1191 (FAX 兼)
E-mail：rinpokan@town.hino.tottori.jp



▲「大黒様」の歌に合わせて軽い運動も

11月20日、「みんなで歌おう」を老人憩の家で開きました。毎回大好評で、皆さんお待ちかねだった今回、童謡や唱歌、昔話の歌に加え、演歌も登場。神庭公民館長の美声も響き渡り、会場は大盛り上がりでした。歌に合わせて体を動かし、大きな声で歌うことで、ストレス発散になったよう。全17曲、あつという間の楽しい時間でした。

出前公民館「みんなで歌おう」

11月11日から17日の「全国糖尿病週間」に合わせ、6日、町管理栄養士の石原さんを招き料理教室を開きました。今回調理したのは、主菜の「たらのアクアパッツア」を含む4品。調理実習後には、石原さんから糖尿病予防についてのお話しがありました。どれも身近な食材で作ることができると、おいしくて健康にもよい献立でした。ご家庭でもお試しあれ！



▲香ばしい香りが食欲をそそる

地中海料理で健康に！（料理教室）

ての話を聞きました。アクアパッツアをはじめとする地中海食はさまざまな研究結果から、「心血管疾患やがん、パーキンソン病、アルツハイマー病などのリスクが、西洋的な食事と比べ低い」「ぜんそくや慢性関節リウマチの症状を改善するとみられる」とのこと。また、料理に欠かせないオリーブオイルの摂取量も多いことから糖尿病の発症事例も少ないという報告もあると石原さん。

＜研修会参加報告＞

「第56回全国隣保館長研修会」に参加して

人権センター所長 田貝嘉彦

11月21日、鳥取市で全国隣保館長研修会が開催されました。川口全国隣保館連絡協議会会長のあいさつに続き、全国隣保館協議会顧問の川崎さんの基調講演を聞きました。

講演で、川崎さんは、「少子高齢化や人口減少、『つながり』の弱体化、社会的孤立などが地域課題として浮かび上がってきている」と指摘。続けて、「福祉のあり方を見直す動きが進められているが、地域の課題を解決する枠組み『地域共生社会』の大切さが問われている」と警鐘を鳴らしました。

そんな中、地域に暮らす人たちが共に支え合い、課題を解決する力を再構築しなければならいと川崎さんは述べ、

【感想】

今回の研修会に参加して、隣保館事業の一つである「相談事業」が担う役割の大切さを痛感した。隣保館（隣保事業）の意義を正しく理解し、事業を進めていく上で、できない理由を考えるのではなく、何ができるのかを模索して有意義な事業を展開していきたい。

..... 1月の行事予定

11日 ... 第43回新春囲碁将棋大会 **参加者募集中！** 会場 / 老人憩の家

14日 ... 健康教室 時間 / 午前10時～午前11時30分 場所 / 老人憩の家

9日・16日・23日・30日 ... 百歳体操 時間 / 午後1時30分～ 場所 / 老人憩の家

※健康教室、百歳体操は、どなたでも参加できます。お気軽にお越しください。

農業委員会だより No.78

これからの農業をどう守り、どう育てていくか

▼第36回日野郡農業委員会研修交流会

11月26日、第36回日野郡農業委員会研修交流会が、リバーサイドひので開かれました。

日野郡3町の農業委員会から総勢50人が出席する中、研修会では2人の講師が講演を行いました。はじめに講演を行ったのは、株式会社ファームイング（日南町印賀）代表取締役の岩田真也さん。岩田さんは、「スマート農業技術から地域営農について考える」と題し、ドローンを使った播種や肥料の散布、除草剤散布、

ラジコン除草機での草刈りなど、作業の省力化に向けた取り組みについて紹介しました。

高齢化や担い手不足が顕著な中山間地域では、地域農業をどう守っていくかが問われています。岩田さんは、「新たな担い手を登用して確保し、儲かる農業を展開するのかなど、まずは地域で担い手不足解消に向けた合意形成を図ってほしい」と呼びかけていました。

岩田さんの講演後には、「日野郡における鳥獣被害

対策」と題し、日野郡鳥獣被害対策協議会の高野伸也さんが講演を行いました。

高野さんは、同協議会の実施隊員として、これまで有害鳥獣の被害防止講習をはじめ、侵入防止策設置指導、被害相談など、日野郡3町で農作物への被害防止活動や啓発活動を行ってきました。参加者にその成果や活動から見えてきたことなどを紹介したほか、鳥獣被害が発生する仕組みやその防止策についても分かりやすく説明。参加者は時折うなずきながら、真剣に耳を傾けていました。

スマート農業をはじめとする先進的な事例から鳥獣被害対策といった身近な問題まで、現代の農業を取り巻く環境を知る良い機会になりました。町農業委員会では、本研修で学んだ知識を今後の活動や日野郡の農業の発展に生かしていきたいと思いをします。



▲地域農業におけるスマート農業の可能性について講演する岩田さん

▶出席した農業委員会からは、活発な意見や質問が



スマート農業…ロボット技術やICT（インターネットなどの情報通信技術）を活用して超省力・高品質生産を実現する新たな農業のこと

日野の農業にかける思いは同じ

▶日野町議会との意見交換会を実施

11月7日、日野町議会総務経済常任委員会において、町議会との意見交換会を行いました。農業委員会の日ごろの活動や、農林振興公社の現状、町内の堆肥活用についてなどさまざまな話題があがりました。

出席した農業委員や議員からは、今後の日野町の農業施策の進め方や担い手育成、遊休農地対策について、意見や提案が出されました。

誰も日野の農業にかける思いは同じ。未来の農業のため、農業者の生活を守るため、議会、町、農業委員会、各関係者が今後も手を取り合い協働して取り組んでいくことが求められています。



▲日野の農業には何が必要なのか？お互いの立場を超え、活発な意見が交わされる